アオサギ観察会

平岡イオンの森にアオサギがコロニー（集団営巣地）を作り始めてから 20 年経ちました。毎年春に飛来して営巣し、子育てを終えて夏の終わりには去っていくアオサギたちを見守る観察会を続けています。昨年度は、江別市内のコロニーも含めて 3 回の観察会を開催しました。

北海道アオサギ研究会代表の松長克利さんを講師に、近くの平岡高校のご協力を得て屋上からアオサギ・コロニーの様子を観察します。今年は、ここ数年では最も早い 3 月 2 日に初飛来を確認しました。好天に恵まれて、それ以降アオサギは続々と数を増やし、順調に営巣の準備を整えているようです。今年も 4 月～6 月にかけて、抱卵やヒナに餌を運ぶ親鳥の苦労、巣立ちの練習をする幼鳥の様子など、子育て期間中の観察会を予定しています。

小学校の総合学習—地域の自然を知ろう

清田小学校『緑地はかせになろう』、平岡南小学校『平岡公園たんけん』の総合学習のお手伝いをしています。3 年生全員が小グループに分かれて、各小学校近くの清田緑地・平岡公園を歩きます。

6 月・平岡公園人工湿地

1 月・スノーシューで清田緑地

動物や植物のこと、地形や地域の昔の様子など話のタネや学習して欲しいことはたくさんありますが、元気な子供たちの目と耳を引き付けておくのは、なかなか大変。中には小さな虫博士もいて、子どもたちの観察眼に教えられることもありました。

水辺の生きものたちは、今　2016 年

「平岡どんぐりの森」は、札幌新道周辺に残る林や湿地、池と、そこに生息する水辺の生きものたちに関心を寄せ、見守る活動をしてきました。新道延長工事が終了した 2015 年には、レッドデータ種のエゾホトケドジョウを保護する池が完成し、新道周辺の自然環境の保全を目指す活動は一区切りがついたかと思った矢先に、隣接する土地に宅地開発が計画されていることがわかりました。

エゾホトケ池への影響は？周囲の沢や池に生息する*エゾサンショウウオ*や*ニホンザリガニ*は、どうなるのだろうか？危惧を抱いた私たちは、札幌市環境対策課の担当者も同席の上で昨年春に開発会社と話し合いを持ち、開発予定地がこの周辺に残された「最後の」貴重な自然環境であることを踏まえて、周辺に生息する希少な生きものたちに最大の配慮をお願いしたいと要望しました。6 月には、開発会社と札幌市に対して環境保全に関する要望書を提出しています。札幌市からは、当該地の自然環境の重要性を認識しているので、今後も開発業者に環境保全を要請していく旨の回答があり、開発会社からは、要望のあった開発面積の縮小には応じられないが、池や湿地のある低地部分には手を付けず、樹木の伐採は必要最小限にする等、開発にあたっては環境に配慮する旨の回答がありました。この場所で希少生物の調査・研究を続けている酪農学園大学の研究者のご協力もあって、開発会社側からは一定のご理解を得られたと思います。しかし、民有地である以上、今後の経済状況、社会情勢によってはどのような変化があるか予断はできません。開発会社側からは、今後の財政的な負担や安全上の懸念を漏らす声も聞こえます。将来にわたってこの場所を守っていくために、私たちにできることは何か、引き続き考えていきたいと思います。

学生から見た「ながぐつの土曜日」

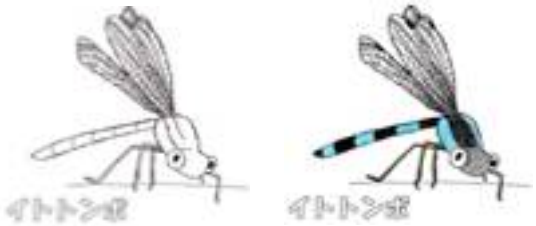
酪農学園大学大学院　酪農学研究科
野生動物保護管理学研究室
（文・イラスト）本間　詩織

2013 年 4 月 20 日、「ながぐつの土曜日」に学生ボランティアとして初めて参加した日です。それから約 4 年間、学生のボランティアとして参加し続けています。

初めて参加した年は、自然や生物のことは座学や図鑑などで”知っている”程度のものでした。直接観察をして何の種類の生き物であるか見分ける能力のような、実践的なことについては初心者であることを強く実感していました。しかし同時に、見るものや聞くものがとても新鮮で、ボランティア側からでも学ぶことが多くありました。4 年間続けてきたきっかけは他にもありますが、実践的な力を養いたいという思いが一番強いきっかけとなったのだと感じています。

平岡公園にぎわいフェスタ

また、「ながぐつの土曜日」の中でカエルツアーや《夏の平岡公園にぎわいフェスタ》では、学生側で企画に携わる経験もさせていただきました。大学生になってしまうと、どうしても最初は小学生という立場で考えることが難しくなっています。目線も大人寄りになってしまいがちですが、改めて子どもたちが見ている自然とはこういうものなのかと思わせてくれることもありました。



にぎわいフェスタ用のぬり絵

「ながぐつの土曜日」を通して、小学生の時に自然や生き物のことを観察し、実際に触れるという体験はとても貴重なことだと感じています。特に、わからないことがあれば教えてくれる人がいるのは、子どもたちにとって自然や生き物に一層の興味を持つきっかけになっています。自分で調べるということも大切ですが、名前だけでも教えてもらえると、次に同じものを見つけた時に「名前、知ってるよ」と、子どもの口から名前を教えてもらうこともありました。子どもたちから学ぶことや発見することも多く、私にとって「ながぐつの土曜日」は自然や生物を見分ける力を身につけるだけではなく、新しく様々な目線から自然を見て考えることもできるようになりました。

今年もやります！　夏休み＆冬休み　平岡公園にぎわいフェスタ

詳しくは　平岡公園ホームページ hiraoka-park.jp/　でお知らせします。

発行　**平岡どんぐりの森**

〒004－0033　札幌市厚別区上野幌 3 条 5 丁目12－8
代表　荒井美和子
TEL・Fax　011-896-0058

ホームページ　http://dongurinomori.web.fc2.com/